



堺市立総合医療センターと市民の健康をつなぐ広報誌



公式マスコットキャラクター  
「エビちゃん」

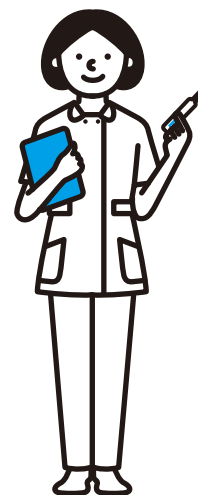
# ぞうさん広場

vol.26  
2022 春号

特集

地域全体で患者さんの生活を守る

## 地域医療情報ネットワークシステム



地方独立行政法人 堺市立病院機構

堺市立総合医療センター

SAKAI CITY MEDICAL CENTER

# × 大里浩樹

地方独立行政法人堺市立病院機構  
堺市立総合医療センター 院長

THEMA

## ICTの導入で広がる地域医療連携の可能性

超高齢社会において患者さんの生活を支えるために構築された「堺市地域医療情報ネットワークシステム」。病院や診療所など各医療機関をネットワークで結ぶことで、患者さんの医療情報を迅速に共有できるようになりました。昨年6月の運用開始に至るまでの道程から、これからの地域医療の形まで、今回のシステム運用に寄与した2人のキーパーソンに語っていただきました。

### 01 病院の垣根を越えた連携で 地域住民の命と生活を守る

岡原

ICT（情報通信技術）を活用して各医療機関を結ぶネットワーク「堺市地域医療情報ネットワークシステム」の構築は、実は平成28年から構想してきたことです。行政の協力も得ながら、長い時間を掛けて堺市内の6つの地域医療支援病院※1と何度も話し合いを重ね、忌憚のない意見を交わしてきました。運用に至った際は感慨深いものがありました。そのなかで中心的に動いていたいただいたが貴院です。

大里

当院は、堺市地域医療情報ネットワーク運営協議会の事務局を担い、堺市医師会と協力しながら他院との調整を進めてきました。約82万人の人口を抱える医療圏で統一規格のシステム運用は全国的に

岡原

も珍しく、患者さんやかかりつけ医が参加しやすいので大きな意義があります。

現在は情報公開病院として、貴院のほか大阪ろうさい病院、堺平成病院、馬場記念病院、耳原総合病院、そして今年度からベルランド総合病院に加わっていただき、計6施設に。これほど多くの病院が参加していただけたのは、各病院が自院の利益のみを考えるのではなく、「堺市の患者さんを地域全体で守る」という共通の使命を持って尽力いただいたおかげだと思います。

大里

そうだと思います。よく病院内ではチーム医療※2が大切と言われますが、一つの病院で医療が完結できなくなってきました。超高齢社会で患者さんの生活を支えるためには、各医療機関の垣根を越えて、地域全体でチーム医療をする時代になっていくでしょう。



#### 理解を深める医療用語集

（※1）地域のかかりつけ医などから紹介された患者さんに高度な検査や医療を提供するため都道府県知事の承認を受けた病院

（※2）1人の患者さんに対して、複数の医療専門職が連携することで治療やケアに当たること

（※3）アドバンス・ケア・プランニングの略。患者さんを主体に、家族や医師・ケアチームが話し合い、患者さんの治療やケアに対する意思決定を支援する過程

## 02 患者さん一人ひとりに寄り添った医療提供を

岡原

このシステムでは、情報共有に同意いただいた患者さんが病院で受けた検査内容、画像診断の結果、投薬内容や病歴要約などを、診療所や他の病院で参照できるようにになっています。CTの予約も電話やFAXではなく、システム上で可能になります。実際、病院を退院した患者さんが私の診療所に来たとき、パソコンから治療内容や検査結果を確認することで、リアルタイムに適切な薬を処方できた例もありました。

大里

病院の電子カルテと遜色ないデータをかかりつけ医が参照できるということですね。検査結果や画像診断の共有は可能になりました。さらにソフトな情報の共有も。つまり医師が患者さんどのような病状説明をしているか、患者さんが病気をどう理解しているか、治療に対してどのようなことを希望しているかなど、数字だけではわからない情報が、治療の後も続く生活を支えるために大切です。

岡原

大里先生が仰ったことは、人生の最終段階でどういう医療やケアを受けたいかを事前に決めておくACP(人生会議)<sup>(※3)</sup>にもつながる内容です。通常は患者さんを中心に病院の医師やご家族と話しな

がら決めますが、かかりつけ医にも共有できれば、退院後の治療方針の決定に非常に役立ちます。

大里

医療情報やACPを救急の分野でも共有しておけば、緊急を要する場面でもより適切な処置が可能になります。医療情報をシステム上で管理するというと、冷たい印象があるかもしれませんが、しかし上手に活用することにより、患者さん一人ひとりに寄り添い、適切な医療やケアを提供できるので、むしろ温かなものになると思います。

## 03 地域医療連携ICTの導入は未来を見据えた第一歩

大里

今後は地域の高齢化や生活習慣病の増加で、医療の主体が病院からかかりつけ医に移っていきます。高齢患者さんの生活を守るためには、患者さんの住む地域のことも熟知するかがりつけ医に普段の診療をしてもらう<sup>(※4)</sup>がかりつけ医機能<sup>(※5)</sup>を最大限に活かさないといけません。現

状は基本的に病院のデータをかかりつけ医が参照するシステムですが、いずれ病院もかかりつけ医から患者さんの療養生活の状況などを参照できるように更新していくと思います。

岡原

このシステムはようやく第一歩を踏み出したばかり。将来的には健診データや日々の運動量、カロリーなども紐付けて病気の予防や健康管理に役立てるなど、まだまだ活用の余地はあります。そうした未来のためにも、まずはこの一歩を確実なものにしたいと考えています。地域の皆さんに恩恵を受けていただくためには、参加している医療機関の数が十分とは言えないので、しっかりと広報して堺市の各医療機関の参加率100%を目指します。





患者さんへ

# 患者さんに知ってほしい 地域医療連携ICT

患者さんには馴染みが薄い地域医療連携ICT。地域の医療機関と患者さんの橋渡しを担っている地域連携センター（現 患者支援センター）で、今年の3月まで副センター長を務めていた川端先生に、わかりやすく説明していただきました。

胃食道外科・  
緩和ケア科 副部長  
かわばた りょうへい  
川端 良平 先生



## 地域の医療機関が連携し 患者さんを包括的に支える

当院を含めた病院（情報公開病院）で受けた検査の結果や入院時の診療情報を、かかりつけ医など身近な医療機関で参照できる仕組みが「地域医療連携ICT」です。ICTを活用することで、今まで手紙やFAXでやり取りしていた患者さんの情報がインターネット上で共有できるようになりました。かかりつけ医と病院で同じ検査をすることが防げたり、薬の重複を回避できたりするので、患者さんの身体的・経済的負担を軽減できます。また、より正確な診療にもつながりますし、病院で手術をした後の療養や、治療から在宅療養や介護へのスムーズな移行も実現できるでしょう。特に高齢の患者さんは複数の病気が併存していたり、介護やケアが必要な場合が多かったりするため、住み慣れた地域で自分らしく生活するには、さまざまな職種の方の支えが必要です。そこで多職種の連携をスムーズにするこのシステムは非常に有効で、患者さんにとって良いことがたくさんあるので、ぜひ情報公開にご同意ください。

### ----- Q&A -----

#### 堺市地域医療情報ネットワークシステムの 気になる疑問を解決!

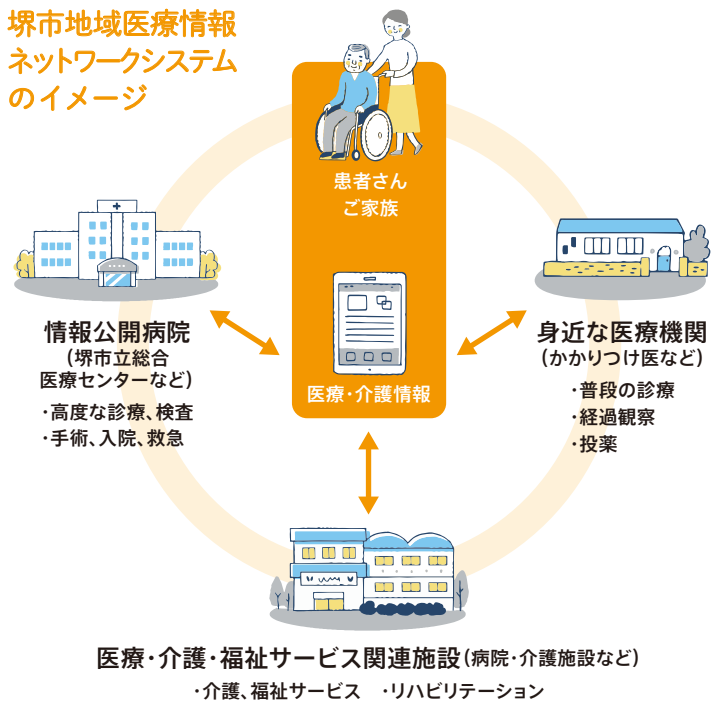
#### Q 登録手続きの流れを教えてください。

A 堺市地域医療情報ネットワークシステムに参加しているかかりつけ医などの身近な医療機関で説明を受け、情報共有の同意書を記入し、提出することで手続き完了。登録料や管理費など患者さんの負担はありません。

#### Q 個人情報はずっと守られていますか？

A 患者さんの診療情報は、セキュリティ対策を行った回線で通信しています。情報を参照できるのは届出をして許可を得た医師や看護師などだけで、いつ・だれが・どの情報を閲覧したかを記録しているので安全です。

#### 堺市地域医療情報 ネットワークシステム のイメージ



#### 患者さんへの3つのメリット

- 01 身体的な負担や経済的な負担の軽減
- 02 かかりつけ医での診療がより正確に
- 03 転院や介護への移行がスムーズに



## 患者さんの情報を より早く正確に共有

地域医療連携ICTは、病診連携を円滑にするためのツールです。診療情報を公開する病院で患者さんが受けた治療、検査、画像診断、薬の処方や退院時要約などの情報をかかりつけ医の先生が、診療所のパソコンから確認できるようにになります。病院の電子カルテを直接参照するよりイメージで、紙媒体で共有するよりも多くの情報を参照でき、レントゲンやCTなどの画像もいち早く見られるようになります。検査のデータなどは時系列で参照できるので、患者さんの検査値の推移などもわかります。患者さんの情報を得たいとき、病院に問い合わせをする必要もありません。的確な診療の助けになり、患者さんの安全や安心にもつながる地域医療連携ICTは、今後、標準化されていくでしょう。早い段階から参加して操作に慣れていただきたいと思います。パソコンとインターネット環境があればすぐに参加可能ですので、まずはお問い合わせください。



### かかりつけ医の先生へ

## かかりつけ医の先生にも メリットがたくさん

2021年6月に運用が始まった堺市地域医療情報ネットワークシステムですが、かかりつけ医の先生からはイメージがつきにくいとの声も。そこで、運営協議会で事務局を務める情報システム課の山根さんに、地域医療連携ICTの気になるポイントを伺いました。



情報システム課 課長  
山根 貴久 さん

## 気軽に参加いただけるよう サポート体制を整えています

かかりつけ医の先生のなかには、普段パソコンを触らない方もいらっしゃると思います。パソコン操作に慣れていない先生に対しては、システムの導入から操作方法まで訪問サポートもいたします。一度ご使用いただければ、便利さを実感されることも多く、「診療がスムーズになった」との声をいただいております。また、不具合が生じた際にも、当院の情報システム課と患者支援センターが窓口となってアフターフォローをしますので、安心ください。

## 紹介受診がオンラインで 予約できるようになります

今後は、病院へ患者さんを紹介する際に必要な予約もシステム上で完結できるようにします。また、運用するなかでかかりつけ医の先生からいただいた要望や不具合を協議会で検討して、より使いやすい仕様に更新していく予定です。当システムは医療機関の参加数が多いほど力を発揮します。費用の負担もありませんので、ぜひご参加いただければと思います。

## かかりつけ医参加の流れ

1

### 利用申込書の提出

当院の情報システム課に利用申込書を提出。同時に、利用者登録と個人情報に関する誓約書を記入いただきます。

2

### システムのインストール

パソコンにシステムのインストールが必要です。郵送するマニュアルに沿って設定してください。訪問サポートにも対応します。

## お問い合わせ

お申し込み、お問い合わせは右の二次元コードからお願いします。



※医療関係者専用の窓口です。

登録医とは、患者さんに継続的な医療を提供するために、当院と連携している地域の医療機関(かかりつけ医)のことで、地域医療の要を担う登録医の先生を紹介します。



## 東区北野田



内科・消化器内科

医療法人

## ともつ内科クリニック

堺市東区北野田1084 ベルヒル北野田204-2

■南海電鉄高野線「北野田駅」より徒歩約2分

☎072-230-1386

| 診療時間        | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 9:00~12:00  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | / |
| 17:00~19:00 | ○ | ○ | ○ | / | ○ | / | / |

※祝日は休診



鞆津 浩一 院長

### ●当院の特長

総合内科専門医として内科全般の疾患に対応しており、特に生活習慣病は長年の経験に基づいて最適な診療を提供します。また、消化器病専門医でもあるため消化器病に対しても専門性の高い診療を提供しています。開業前は堺市立総合医療センターの前身にあたる市立堺病院に23年間務めていました。「堺市地域医療情報ネットワークシステム」の参加医院でもあるので同院との連携もスムーズです。速やかな情報共有が実現したのでよりの確な診療や投薬が可能となりました。

### ●私の診察モットー

診療は対応できる範囲を広く持ち、どんな疾患でも診られるように心がけています。また、医師の独善や押し付けがないよう患者さんの言葉を傾聴したうえで根拠があり広く認められた標準的な診療を行います。医療のみならず保健、行政、介護の知識や情報も含めて提案します。スタッフ一同、温かみのある接遇で通いやすいクリニックを目指しています。

### ●地域の患者さんへメッセージ

「ここへ来たならほっとするわ」、「早く病気を見つけてくれてありがとう」、「コロナの疑いがあっても診てくれて感謝します」など患者さんに喜んでいただくことがやがてです。これからも嬉しい言葉をいただけるよう日々診療にあたりますのでどうぞよろしく願っています。

## 北区百舌鳥赤畑町



内科・糖尿病内科・訪問診療・オンライン診療

医療法人 健慶会

## 奥田内科医院

堺市北区百舌鳥赤畑町4-254-1 山田医療ビル3F

■JR阪和線「百舌鳥駅」より徒歩約2分

☎072-246-8877

| 診療時間        | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 8:30~12:00  | ○ | ○ | ○ | / | ○ | ○ | / |
| 16:30~19:00 | ○ | ○ | ○ | / | ○ | / | / |

※祝日は休診

※初診の方は受付終了30分前までにお越しください



奥田 健院長

### ●当院の特長

約半世紀にわたり地域の医療を支えてきた歴史ある山田内科医院を引き継ぎ、3月から名称変更しました。糖尿病や高血圧、高脂血症などについては、大学病院と同じレベルの治療をもっと身近に提供しています。また、最近では地域の高齢化やコロナ禍といった社会背景があるなかで、より多くの方に医療を提供するために、訪問診療やオンライン診療にも注力しています。通院が困難な場合はお気軽にご相談ください。オンライン診療は、当院のLINE公式アカウントから無料で相談可能です。24時間365日体制で受け付けております。

### ●私の診察モットー

患者さんには、自分の家族のように常に親身になって寄り添います。患者さんからのニーズには、可能な限り全力でお応えするように心がけています。訪問診療やオンライン診療は、実際に患者さんから求められたことで始まりました。若さも一つの武器にしながら柔軟に対応していきます。また、患者さんの情報が参照しやすくなる「堺市地域医療情報ネットワークシステム」への参加など、新しい技術も積極的に取り入れ、患者さんに還元していきたいと思っています。

### ●地域の患者さんへメッセージ

地域医療の根幹を支えるかかりつけ医として、安心いただけるよう病状を把握した的確な診療を心がけています。健康診断や人間ドック、予防接種や介護保険など、不安なことがあれば何でもお気軽にご相談ください。



# 当院の登録医の先生をご紹介します

## 西区鳳西町



内科・消化器科・放射線科

## 松本内科クリニック

堺市西区鳳西町1-92-2 マンション池尻1F  
■JR阪和線「富木駅」より徒歩約10分

☎072-262-5073

| 診療時間        | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 9:00~12:00  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | / |
| 17:00~20:00 | ○ | / | ○ | / | ○ | / | / |



松本 恵一良 院長

### ●当院の特長

当院は長年地域の皆さんのかかりつけ医として、内科全般の診療のほか、消化器科・放射線科の各種検査や禁煙外来にも対応してきました。早期から電子カルテを導入するほか、超音波機器、レントゲン室などの設備を取り揃えています。当院はベッドサイドに超音波検査機器を設置して、医師が自ら検査をしているので、見落としが少なくと自負しています。また、早期から新型コロナウイルスの発熱外来にも取り組んできました。院外の駐車スペースに、ドーム型の発熱外来専用ブースを設置しているので、その他の患者さんとの接触がなく安全です。

### ●私の診察モットー

早期診断、早期治療をモットーに、日々取り組んでいます。また、患者さんのなかには、病気を抱え込みすぎて急に悪くなって救急搬送される方もいらっしゃいますので、当院で診られない部分を早く見極めることも大切にしています。当院で診療できない場合は、堺市立総合医療センターをはじめ、連携する医療機関へご紹介いたします。

### ●地域の患者さんへメッセージ

開院から26年以上が経ちました。ずっと通ってくださる方がいるというのは、それだけ信頼していただいているということなのだと思います。これからもスタッフ一同やさしく、温かい言葉かけをすることで、患者さんが気持ちよく過ごせるように心がけますので、体調が優れないときはお気軽にご来院ください。

## 北区長曾根町



人工透析

医療法人 好輝会

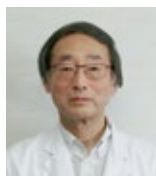
## 梶本クリニック 新金岡分院

堺市北区長曾根町1467-1 メディカルエイトワンビル3F・4F  
■大阪メトロ御堂筋線「新金岡駅」より徒歩約10分

☎072-256-3456

| 診療時間        | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 7:20~11:50  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | / |
| 12:00~17:50 | ○ | △ | ○ | △ | ○ | △ | / |

※火・木・土曜の午後は13:30~17:30



杉村 武嗣 院長

### ●当院の特長

長時間透析、血液透析ろ過、吸着療法、臨時透析など患者さんの状態に合わせた透析療法を提供できるよう心がけています。透析を開始するためには、動脈と静脈を繋ぐ内シャントを手術で造設する必要があります。また、十分な透析を維持するためにもシャントの管理は必要不可欠です。当院は中百舌鳥分院に手術設備があり、内シャントトラブル発生時にグループ内でシャント関連手術も可能です。また、患者さんとは長い付き合いになるので、コミュニケーションを大切にすのほか、ベッド間にスペースを設け、感染予防・プライバシー保護にも考慮。ご自宅まで車いす対応の無料送迎バスも運行しています。

### ●私の診察モットー

「元気に透析に来ていただき、元気に帰宅していただくこと」です。そのために、患者さん一人一人に合わせて、透析に耐えられる体力作りを大切にしています。若い方に向けてはある程度の食事制限、逆に高齢の方には栄養不良の場合も多く、ビタミンやアミノ酸の補充療法の栄養指導を行っています。また、筋肉や心肺機能を維持することも大事なので、在宅でもできる簡単な運動療法を指導するほか、福島本院では透析中の運動療法も取り入れています。

### ●地域の患者さんへメッセージ

透析は、ご理解いただくのが難しい治療で、負担が大きいと思われるイメージがあるかもしれません。しかし、食事療法や運動療法など日々の心がけ次第で快適に治療していただけます。当院は可能な限り患者さんの負担を軽減できるよう設備や環境を整えていますので、前向きに取り組んでいきましょう。

# 夏バテ予防 Recipe

## 枝豆とトマトのカレー炒め



### 材料 (2人分)

むき枝豆(茹で) …… 80g  
 トマト …… 160g(中1個)  
 キャベツ …… 140g  
 ツナ缶(水煮) …… 70g(1缶)  
 サラダ油 …… 大さじ1  
 カレー粉 …… 小さじ1  
 醤油 …… 小さじ1



### 作り方

- ① トマトを一口大、キャベツをざく切り、ツナ缶は汁をきる。
- ② フライパンでサラダ油を熱し、キャベツを炒める。
- ③ キャベツがしんなりしてきたら、むき枝豆、トマト、ツナ缶を入れて炒め合わせる。
- ④ カレー粉と醤油で味を整えたら完成。

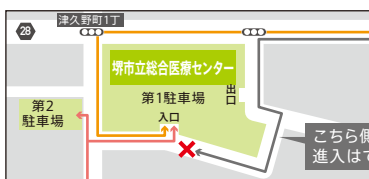
教えてくれたのは  
 栄養管理科  
 渡邊 薫子さん



暑くなると喉ごしのよい麺類で済ませてしまい、栄養が偏りがちになります。夏バテを予防するためには、たんぱく質、ビタミン、ミネラルなどを意識して摂取しましょう。枝豆にはたんぱく質が豊富で、トマトをはじめとする夏野菜にはビタミンやミネラルがたくさん含まれています。また、カレー粉の香辛料は食欲増進効果も期待できます。

栄養価 (1人分) エネルギー:166kcal 塩分:0.6g

## Access 交通のご案内



※当院駐車場へのご利用は一方からの進入となっております。  
 ※月、火、木曜日は大変混雑しますので、第2駐車場もご利用ください。

こちら側からは駐車場への進入はできません

## 堺区・南区方面に送迎バスを運行中!

堺区ルート 19本/日 南区ルート 8本/日

無料  
 ※平日のみ

●運行ルート・時刻表につきましては、ホームページでご確認ください。

### バスでお越しの方

中もず駅前、石津川駅前、深井駅、泉ヶ丘駅、若竹大橋、梅・美木多駅、堺東駅前

上記の南海バス停留所から、堺市立総合医療センター行きバスをご利用ください

### 電車でお越しの方

JR阪和線津久野駅 徒歩約5分

### 車でお越しの方

阪和自動車道「堺IC」より10分

阪神高速道路15号堺線「堺出口」高架道を出口まで進み国道26号線より15分

### 駐車場料金のご案内

| 一般ご利用者(お見舞い等)                 | 当日受診された方             | 手術付き添いの患者さんのご家族等                |
|-------------------------------|----------------------|---------------------------------|
| 最初の1時間<br><b>200円</b>         | 5時間まで<br><b>200円</b> | 24時間まで <b>200円</b>              |
| 最初の30分以内に在庫の場合は無料。以降30分毎に100円 |                      | 当日受診された障害者手帳をお持ちの方<br><b>無料</b> |



地方独立行政法人 堺市立病院機構

堺市立総合医療センター

SAKAI SAKAI CITY MEDICAL CENTER

〒593-8304 大阪府堺市西区家原寺町1丁目1番1号

TEL.072-272-1199

<https://www.sakai-city-hospital.jp/>